

ナシ「但馬1号」の育成と普及に向けて 県立農林水産技術総合センター 農業技術センター農産園芸部 企画調整・経営支援部

【背景】 但馬地域では、100戸の農家が30haのナシを栽培しているが、「二十世紀」系品種が8割を越え、品種のバリエーションが少ない。特に早生品種は4%程度と少なく、優良な早生品種の選定と早期導入は夏の観光客需要への対応や収穫労力の分散、経営の安定化を図る上で急務となっている。

但馬1号 これまでの経緯

平成7年: 北部農技において「吉香(よしかおり)」に「幸水」を受粉、実生を得る
 平成24年8月23日: 消費者食味アンケートを実施、盆過ぎ収穫期品種群のアンケートで最も好評
 平成25~26年: 一般生産者への試食アンケート調査を実施、品種登録・試作希望多数
 平成27年2月6日: 県初のナシ育成品種「但馬1号」として品種登録出願

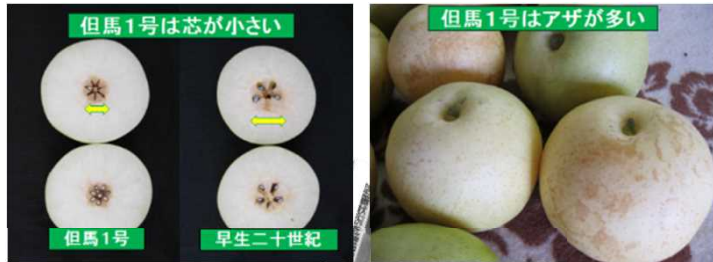
但馬1号の品種特性



- ・ 収穫時期: 8月中~下旬
- ・ 果実重: 400gで幸水より大きく、日持ちもよい
- ・ 糖度: 12度、早生二十世紀より高く、幸水と同程度で良食味
- ・ 外観: 二十世紀と比べ、ややアザの発生が多い
- ・ その他: 果芯が小さい→可食部が多い

表1 但馬1号の果実特性(H24)

品種名	収穫始 (月/日)	収穫終 (月/日)	果実重 (g)	糖度 (Brix)
但馬1号	8月22日	8月27日	405.2	12.0
八雲	8月7日	8月13日	306.6	10.7
早生二十世紀	8月20日	8月22日	311.0	11.0
幸水	8月27日		363.3	12.0
二十世紀	9月10日	9月24日	356.8	11.3



但馬1号の普及に向けて

(1) 推進計画

	H27	H28	H29	H30	H31
(1)生産量の確保 ・現地実証 ・生産マニュアルの作成 ・穂木、苗木増殖体制の整備	実証ほ設置	見本園設置			
(2)販売促進 ・販売戦略の策定 ・販売促進活動の実施		コンサル委託・マーケティング		PR活動 販売開始	
(3)ブランド化の推進 ・商標登録 ・選果施設利用体制整備		許諾契約	商標登録		選果プログラム修正

(2) 生産計画

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
面積(ha)	0	0	0	1.0	1.5	2.0	2.5	3.3
出荷量(t)	0	0	0	25.0	37.5	50.0	62.5	82.5
販売額(百万円)	0	0	0	10	15	20	25	33

平均単価の向上(349円/kg→400円/kg)により、10aあたり13万円の収入増加(試算)



(3) 推進体制

